

# 当院における ギムザ染色用捺印標本作製の注意点

～ 捺印から乾燥固定まで ～

医療法人 明和病院 臨床検査科

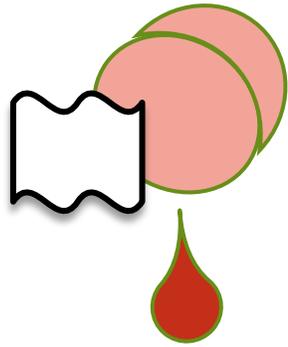
松林謙治、狭間結衣、渥美亜紀子、梶本仙子、覚野綾子

第46回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会

利益相反の有無：無

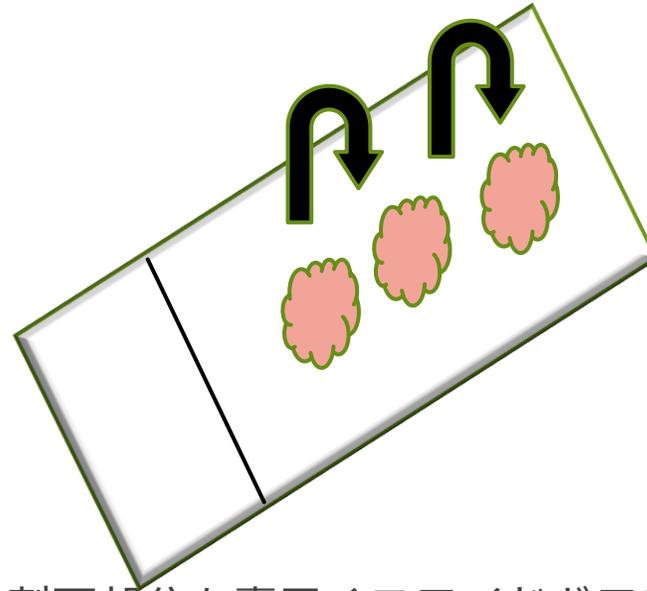
※この演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません

# 捺印標本作製



① メスにて臓器に断面を入れる

断面部分の血液を軽く拭き取る

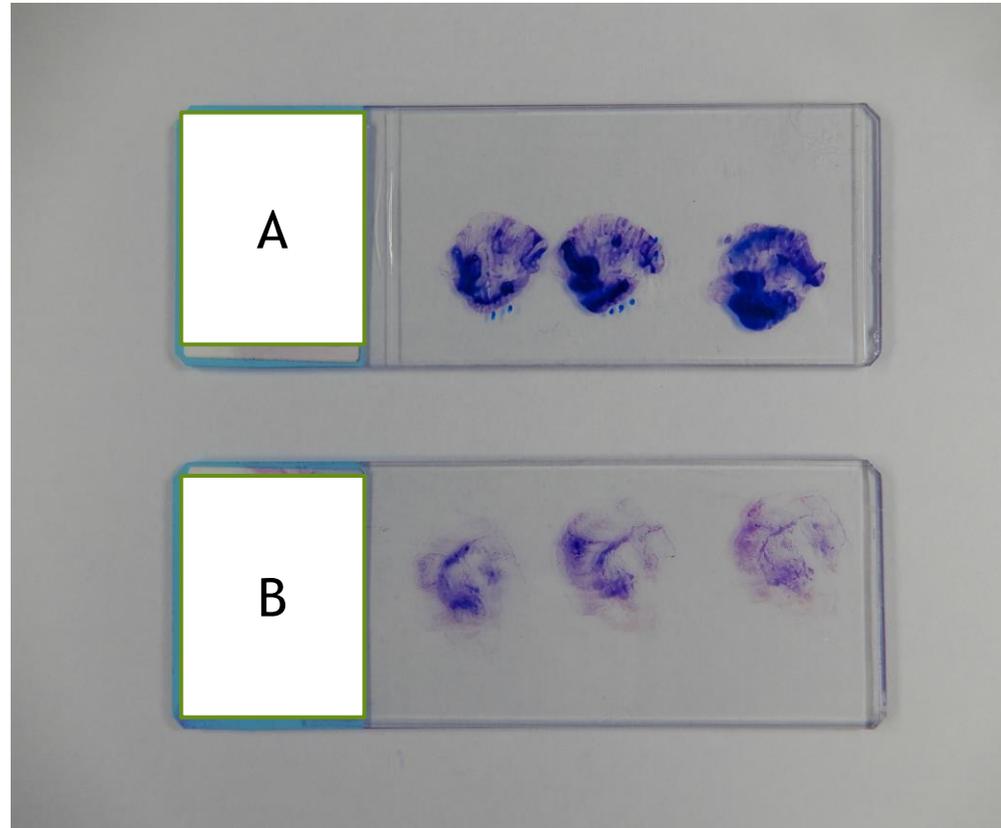


② 断面部分を素早くスライドガラスに捺印し、十分に風乾する

## <ギムザ染色の手技>

- 1.塗抹・冷風乾燥
- 2.メタノール 5分
- 3.ギムザ染色液 15分  
(市販のギムザ染色液を pH6.4 の PBSで10倍希釈)
- 4.軽く水洗後、酢酸水にスライドガラスを4~5dip  
(酢酸水：DWに酢酸を2~3滴下)
- 5.流水水洗・冷風乾燥

# 捺印標本



## A標本：

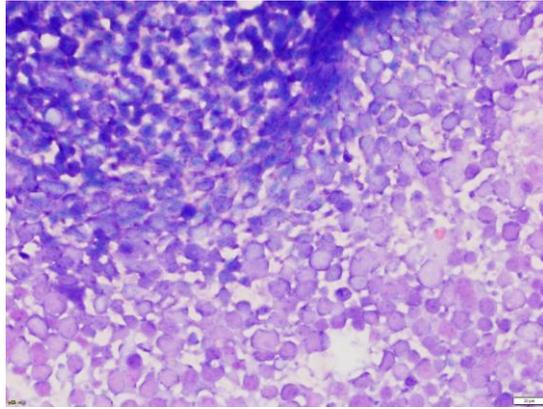
血液の拭き取りが不十分の為、  
分厚く、乾燥にムラが出来て  
しまう

## B標本：

適度な拭き取りが出来ていて、  
風乾も均一  
染色状態が良好

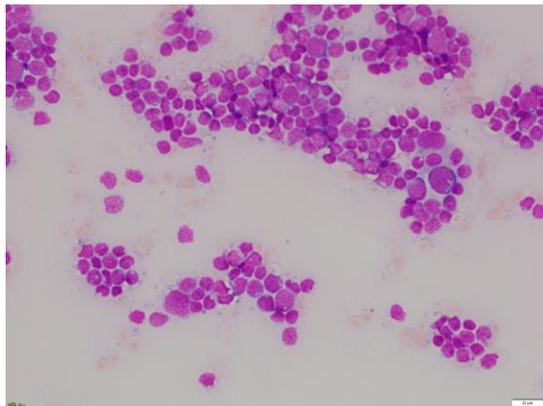
# ギムザ染色標本

A 標本 :



染色ムラが出来る

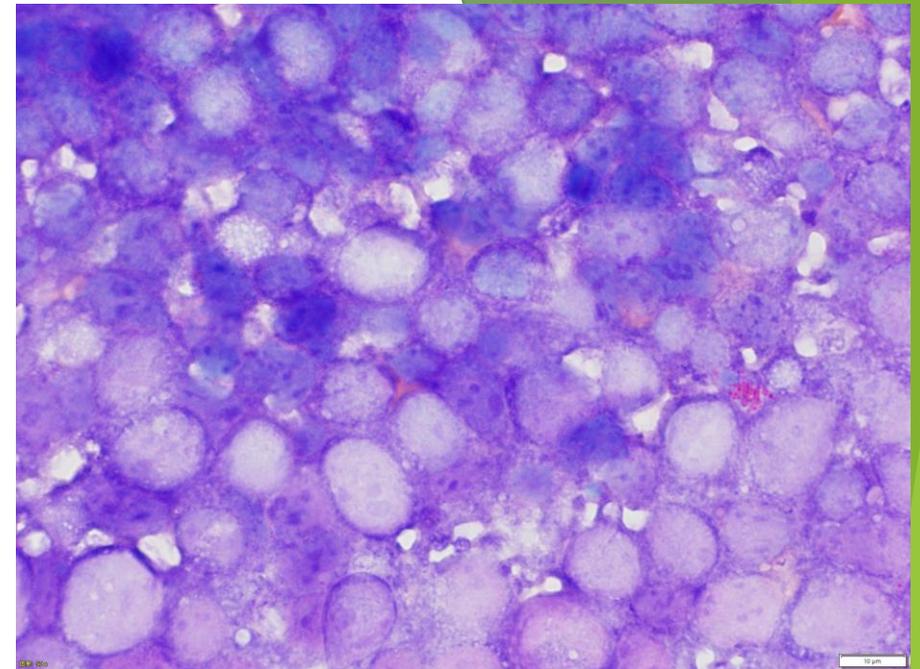
B 標本 :



均一な染色性を示す

- ・細胞間や細胞内の核と細胞質の染め分けがはっきりしない

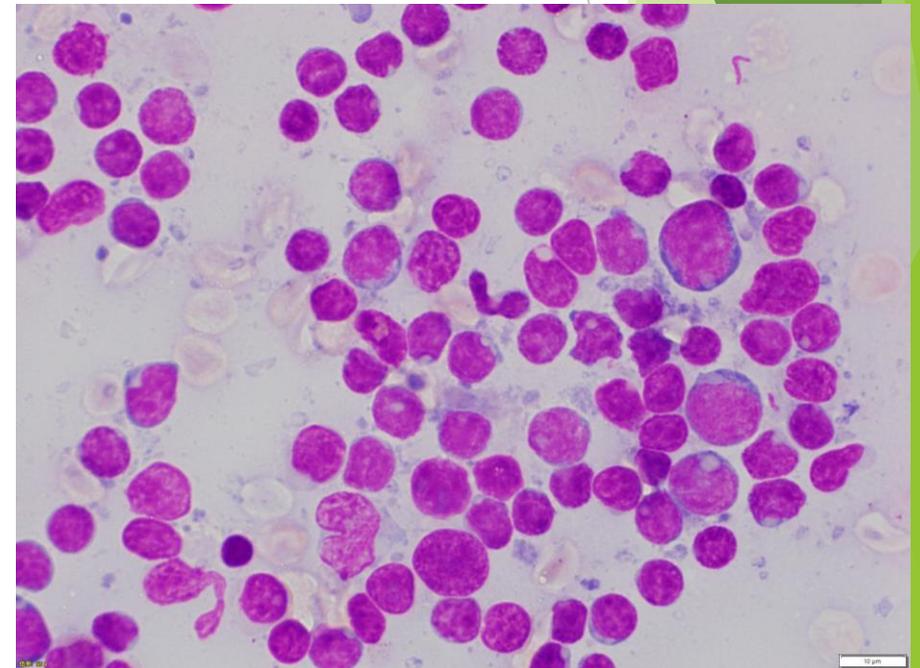
- ・核酸のリン酸基まで染色液が浸透しない



- ・核形が明瞭

- ・クロマチン構造が鮮明

- ・顆粒が明瞭に染まる



# まとめ

1. 断面部分の余分な血液を軽く拭き取る
2. スライドガラスに捺印する際、素早く行い、迅速に十分に風乾する